

祭事暦

4月1日・20日 午前8時30分
 月次祭
 4月6日(土)・7日(日)
 年参講大祭
 (7日 宮山参拝日)
 4月29日 午前8時30分
 略和祭



発行所
 寒川神社社務所

〒253-0195
 神奈川県
 高座郡寒川町宮山3916
 電話 代表0467(75)0004

編集者 水谷 智賢
 印刷所 樹さんこうどう



庫絵「明治19年寒川神社絵図」

鎮守の森

寒さも終わりを迎え、春の暖かさを強く感じられる季節となりました。「春」は、仲間との出会いや別かれ、新たな世界への旅立ちなど、一抹の切ない思いや希望が絡み合い、何とも言えない複雑な情感が湧き出てまいります、実感させられる事が目白押しに執り行われます。私はまだまだ若輩者ですが、今まで歩んで来た中で、一度として同じ思いで春を迎えた事がありませぬ。昨年とは全く違つ感情で涙があふれたり、笑顔になつたりします。時には、泣きたいのにわざと笑顔を振りまいたりもしました。その事は、仲間と過ごしたその日その日は些細な事でも、積み重なれば大切な思い出、貴重な財産となつていった事を示していると思ひます。時間とは残酷なもので一度過ぎ去つた刻は決して戻つてまいりませぬ。一刻一刻時は進み、今日から明日へ、明日が今日になり、今日が昨日と移り変わる中で、私達は日々の暮らしを唯なんとなく過ごすのでは無く、一度しか来ない今を生きている全員は、今しか会えないという覚悟のもとで、懸命にお付き合いをするそれが人と人の大きな絆を築くのではないでしょう。現代は技術が進歩し海外の友人とも容易にコンタクトをとる事が出来るようになりました。世界中に人の輪は拡がり便利に世の中になりましたが、その日その時を大切にす心は希薄になつてしまふのではないかと危惧しております。寒川神社には年間を通じて多くの参拝者がお越しになります。私も巫女として、「一期一会」精一杯お仕えさせて頂き、そして再びお会い出来る事を喜びとしてご奉仕して参りたいと、改めて考えさせられました。(町田れいか)



遷宮で結ぶ人の輪心の輪
 第六十二回神宮式年遷宮

◆ 宮山役員改選奉告祭執行

寒川町宮山地区の役員交代を御神前に奉告する宮山役員改選奉告祭が三月二十日に執り行われました。

当日は、宮山総代を始め自治会長、町内会長、生産組合長、衛生係、消防分団の新旧役員の皆様が参列し、在任中の報恩感謝と、これから始まる役務の無事遂行が祈願されました。旧役員の皆様には、ご尽力頂きました事にたいし厚

く御礼申し上げます。

また、自治会役員の方からは「東日本大震災後、地域の繋がりがいかに大切かが問われている、日頃の活動は無論の事、防災・減災にも努めなければならぬ身の引締まる思いである」との発言もあり、地域の結束の必要性が訴えられました。新役員の皆様方には、大明神様の御加護のもと重き任務を全うされ益々活躍



- 本年度の宮山総代をご奉仕頂く方々をご紹介します。一年間よろしくお願ひ致します。
- | | | | |
|-------|-------|---------|--------|
| 総代長 | 小菅 弘高 | 旭(東) | 杉山 光弘 |
| 副総代長 | 小菅 隆志 | 旭(西) | 福岡 琢也 |
| 総代 | 金子 紋弥 | 上合 | 横溝 貞義 |
| 雷 | 馬場 邦夫 | 中里(上) | 矢野 敏明 |
| 下 | 根岸(上) | 中里(下) | 中里(河原) |
| 根岸(中) | 砂川 弘 | 中里(サザン) | 奥田 嘉男 |
| 根岸(下) | 佐藤 征一 | 南 | 中村 正男 |
| オリブの丘 | 石井 進 | 江川 辰夫 | (敬称略) |
| | 市川 正彦 | | |

されますこと祈念申し上げます。



◆ 末社御祖神社春季霊祭執行

寒川神社境内地に祀られる末社御祖神社の春季霊祭が、三月二十日に執り行われました。

当日は、宮山地区を中心に神式にて葬祭を営む方々で構成される御祖講の講長石黒明氏を始め、責任役員宮山正副総代長・講員の皆様が多数参列され、ご先祖様の御霊をお慰めし、感謝の念を捧げられました。



◆ 安藤由勝大人命

伊集院直彦大人命 他命等慰霊祭執行



三月二十日、明治の始めに当神社の神主・社僧として奉仕された方々の慰霊祭が、神社に隣接する曹洞宗龍寶山興全寺の墓前に於いて神式仏式による合同祭典にて行われ、寒川神社の護持と氏子への教化育成を始め、地域の開墾事業等、産業の発展の礎を築かれた先人の徳を偲び、今ある発展に感謝の念が捧げられました。

特別講演会

「東日本大震災、そのとき神社は？」開催

去る三月九日、寒川神社
参集殿にて、フォーラム21
湘南主催の特別講演会「東
日本大震災、そのとき神社
は？」が開催されました

講演前には、衆議院議員
の阿部とも子氏を始め、関
係者の方が当神社を参拝さ
れ、宮司の案内にて神嶽山
神苑と方徳資料館を見学さ
れました。

講演会では、まず利根宮
司より被災された東北地方



左より、阿部氏・多田氏・利根宮司・川村氏・荒木氏



の神社の復興状況について
伊勢の神宮の御用材を用い
ての神社再建や、当神社が
行っている金華山黄金山神
社への直接支援等の報告が
なされました。

さらに高知県の若一王子
宮に神職として奉仕する傍
ら、『女性自身』の記者と
して活動されている川村一
代氏、気仙沼で施設図書館
「こじのライブラリー」の
現地責任者として地域復興
活動をされている荒木委子
氏の両氏から、被災地にお
ける神社の現状、神社が地

域住民の心の拠り所として
重要な役割を果たしている
ことを、スライドを交えて
お話いただきました。

また福島県飯舘村に鎮座
する、綿津見神社宮司多田
宏氏には原発の避難区域に
位置する神社の現状、今も
なお残る原発への不安を
ご自身の体験をもとにお話
いただきました。

未曾有の大震災から早二
年、当日参加した約二百名
の被災地への強い思いが感
じられた講演会となりました。



相模湘南支部高座分会 第三十七回 伊勢参宮旅行実施

去る三月三日から五日に
かけて恒例の高座氏子総代
会主催による参宮旅行が実
施されました。

第三十七回目となる今回
の旅行は本年十月二日（内
宮）、五日（外宮）に式年
遷宮での遷御の儀が斎行さ
れると神宮より発表された
直後の参拝でもあり、より
式年遷宮を意識しての参拝
となりました。

初日に外宮を参拝し、二
日目に内宮への参拝と昨年



内宮宇治橋にて



砥鹿神社にて

四月に開館した「せんぐう
館」を拝観致しました。せ
んぐう館は式年遷宮につい
て非常に分かりやすく説明
されており、遷宮の年に相
応しい参拝となりました
最終日には三河國一之宮
である砥鹿神社を参拝し
帰路につきました。
天候にも恵まれ、お伊勢
さんを身近に感じながらも
多くのことを学ぶ事が出来
た、大変実りある旅行とな
りました。

五月五日

国府祭御神幸時間のお知らせ

この祭典は「ここのまち」とも呼ばれ、大磯町国府本郷の神揃山に相模国一の宮寒川神社・二之宮川勾神社・三之宮比々多神社・四之宮前鳥神社・平塚八幡宮の神々が神輿にて参集し、古式「座問答」が行われます。その後大矢場にて神対面の儀・国司奉幣の儀が行われます。

神幸時間表

- 五月五日(日)
- 七〇〇 諸員参集
- 七二〇 遷霊祭
- 七五〇 発輿祭
- 八〇〇 社頭発輿
- 九〇〇 平塚通過
- 一〇三〇 神揃山祭
- 一一〇〇 古式「座問答」
- 一二〇〇 神揃山発輿祭
- 一三五〇 神揃山発輿
- 一四〇〇 大矢場着御
- 一五〇〇 神対面の儀
- 一五五〇 国司奉幣の儀
- 一六〇〇 大矢場発輿
- 一九三〇 社頭還幸

▼ 神対面の儀



▲ 発輿祭



▲ 座問答



本年は大矢場へ
大神輿が渡御致します

平成25年4月28日(日) 10:00~16:00

神前結婚式ご案内会

参加予約
受付中

- ◇ 衣裳・美容体験 10:00~ <<記念写真プレゼント>>
- ◇ 挙式セミナー 11:00~
- ◇ 奉告の儀 11:20~ <<記念写真プレゼント>>
- ◇ 模擬挙式 12:00~
- ◇ 模擬披露宴 12:40~
- 各種相談コーナー (随時)
- カラーコーディネート (随時)
- 人力車乗車体験 (随時)



★ レストラン「青葉」でのレストランチケット付き! ★

総合結婚式場

相模国一の宮 寒川神社 参集殿 ☎0467-75-5555

『寒川神社誌』

百年ぶりに刊行

寒川神社の歴史を取り纏めた『寒川神社誌』は、明治四十四年菟田茂丸宮司によって刊行されて以来、この度百年という節目の年になりました。

この間、昭和七年に橋本甚一宮司により『増補寒川神社志』が刊行されましたが、戦後の世情の変化、また寒川神社の八方除信仰の発展・多様化を整理記録し新たに平成の『相模国一の宮寒川神社誌』の編纂を進める機会となり、発行いた



しましたのでお知らせいたします。

京都大学こころの未来研究センター 方徳資料館 研究助成報告

ご挨拶



寒川神社 宮司 利根康教

寒川神社は、古来より相模国一之宮と呼ばれ、一五〇〇有余年の歴史を有し、朝野の崇敬を篤めてまいりました。平安時代の延喜式によれば相模国唯一の名神大社とされ、また鎌倉時代以降も武將を始め篤い信仰を受けております。とりわけ関八州の裏鬼門に位置し、古くより方位除信仰、八方除の守護神として信仰され、現在では全国より八方除の寒川神社として崇敬されています。

平成九年、平成の御大典を記念し、御本殿御造営が檜の香もすがすがしく完成いたしました。さらに御造営竣工十周年を記念し、御本殿周辺整備として神嶽山神苑の開苑、寒川神社の方位除信仰の歴史を知る方徳資料館も同時に開館いたしました。

方徳資料館は、方位除信仰の関連資料展示に合わせ信仰の教化・啓蒙活動とともに、学術研究並び研究助成を活動の柱としてまいりました。

この度は、京都大学こころの未来研究センターに依頼し、「寒川神社方徳資料館提携研究：平安京の風水・方位信仰および生態智と江戸・関東地方の風水・方位信仰および生態智と、そこにおける寒川神社の位置づけに関する総合研究」をテーマに、今までにない画期的な神社研究を実施していただき、その成果を広く一般に認知していただくため書籍を発行され、また締めくくりのシンポジウムを開催いただきましたこと、心より御礼申し上げますとともに、研究いただきました諸先生に敬意を表する次第であります。今後とも神社界のためご尽力いただきますようお願い申し上げます。



シンポジウム 利根宮司挨拶

シンポジウム

日本の聖地文化 相模国一宮 寒川神社と延喜式内社研究

日時：2013年2月27日(水) 13時～17時
場所：京都大学稲盛財団記念館3階大会議室

第一部 13時～15時30分

『日本の聖地文化－寒川神社と相模国の古社』編集者：藤田 幸夫、2011年刊行。からの提言
話題提供者：原田善一、五反田兵也、中野不二男、湯本貴和、河角龍典、小林達雄 ほか。司会：藤田幸二

序章 パワースポットブームと聖地文化 藤田幸二 京都大学こころの未来研究センター 学術助成室 室長
第1章 相模の国の地理と古代 原田善一 京都府立総合資料館 学芸員・学芸員 学芸員 学芸員
第2章 相模の国の花と分析 五反田兵也 中央大学 学芸員
第3章 相模の国の水と宇宮人文化 中野不二男 京都府立総合資料館 学芸員 学芸員 学芸員
第4章 相模の国の生態と古代遺跡 湯本貴和 京都府立総合資料館 学芸員 学芸員 学芸員
第5章 相模の国と寒川神社の地理学的考察 河角龍典 京都府立総合資料館 学芸員
第6章 縄文中期畿大の住居跡－岡田遺跡と寒川神社 小林達雄 京都府立総合資料館 学芸員
第7章 寒川神社と相模国の古社の歴史と民俗 藤田幸二
終章 関東地方の聖地文化 藤田幸二

第二部 15時45分～17時

総合討論『日本の聖地文化と寒川神社と延喜式内社研究』
コーディネーター：加藤道天 京都府立総合資料館 学芸員・学芸員・学芸員・学芸員・学芸員
コーディネーター：大西宏志 京都府立総合資料館 学芸員
話題提供者

京都大学稲盛財団記念館（京都府京都市下町下鴨町46）
・開館時間（入館15時）：2013年2月27日（水）13時～17時（入館15時）まで。閉館（17時）以降は入館できません。
・京都大学稲盛財団記念館は入館無料となります。ただし、入館料（15時以降のみ）がかかります。
・駐車場（稲盛財団記念館）：無料（15時～17時）
・駐車場（京大）：有料（15時～17時）
主 催：京都大学こころの未来研究センター「暮らし空間の総合的研究」プロジェクト（研究代表：藤田幸二）
共 催：京都大学・稲盛財団（TEL：753-2962）

寒川神社方徳資料館の活動の一環として「学術研究」が、平成二十一年より京都大学こころの未来研究センターによって行われ、この度、その成果が二月二十七日京都大学稲盛財団記念館大会議場で行われた「シンポジウム日本の聖地文化相模国一宮寒川神社と延喜式内社研究」にて発表されました。

このプロジェクトの正式名称は「寒川神社方徳資料館提携研究：平安京の風水・方位信仰および生態智と江戸・関東地方の風水・方位信仰および生態智と

そこにおける寒川神社の位置づけに関する総合研究」で、京都大学こころの未来研究センター鎌田東二教授を代表に、今まで行われてきた資料中心の神社研究でなく、自然科学、地質学、宇宙人文学、花粉分析等専門の先生によって新しい視点・分析によって三年間に亘り研究が行われてきました。その成果は書籍「寒川神社と相模国の古社日本の聖地文化」（創元社刊）に纏められ一般書として出版され好評を得ています。

シンポジウム

「日本の聖地文化―相模国―宮寒川神社と延喜式内社研究」開催

- ▽日 時 平成二十五年二月二十七日（水） 午後一時～五時
- ▽場 所 京都大学稲盛財団記念館三階大会議場
- ▽主 催 京都大学こころの未来研究センター「癒し空間の総合研究」プロジェクト（研究代表…鎌田東二）
- ▽プログラム

第一部 『日本の聖地文化 寒川神社と相模国の古社』（鎌田東二編著 創元社刊）からの提言

プロジェクトに参画した研究者が一同に会し、本にまとめられたこれまでの研究成果を発表しました。

第二部 総合討論 寒川神社方徳資料館の資料映像

「方位信仰と平安京」「寒川神社と相模国の聖地文化」が上映されました。プロジェクト研究の基礎知識を網羅した映像を視聴したのち、第一部の発表者と方徳資料館副館長加藤迪夫がコメントーターとして加わり総合討論・質疑が行われました。

活発な質疑応答が行われた第二部の締めくくりとして、寒川神社利根康教宮司より挨拶があり、今回の研究者の取組みに謝辞が述べられました。

最後に鎌田教授は「長時間に亘る最新の研究成果をふまえた有意義な会を持つことができた。これを第二弾、第三弾と調査研究を進化させていきたい」とさらなる研究の発展への意気込みを語り閉会しました



▶ 京都大学稲盛財団記念館

一、開会挨拶

研究代表 鎌田東二 先生（京都大学こころの未来研究センター教授）



はじめに、プロジェクトが起こるようになった経緯を説明、寒川神社を中心とする縄文寒川文化圏や方位信仰、相模国を中心とした延喜式内社・水の信仰を多角的に調査したプロジェクトの歩みを説明また、寒川神社が平成二十一年に開設した方徳資料館が方位信仰に関する研究を開始するにあたり、平安京の方位信仰についての解説を書いた縁で、平安京の映像の作成、さらにこの研究プロジェクトの助成が行われ、三年間の研究成果として本の出版が行われた経緯が説明された

「プロジェクトは人々に安心や『癒し空間』の役割を多角的に解明することを目的とし、様々な手法で総合的に研究を進めてきた。宇宙空間からの衛生データに基づいて、延喜式内社が時代毎の海水準とどのような関係になるかを調べるなど、科学的なデータをもとに、日本の聖地である神社の歴史的・環境位置関係の推定に取り組んできた。京都をひとつのめやすとして、寒川神社のある相模国の癒し空間を調べることにより、癒しと救済がどのようにおこなわれていたかを総合的に研究した成果の全てをまとめたのが『日本の聖地―相模国―宮寒川神社と延喜式内社研究』である」と、その意義について語りました。また、三月十一日の東日本大震災や和歌山での洪水被害がプロジェクトに与えた影響についても説明。「震災後四度に亘り、現地の被災状況とそこにおける延喜式内社を含む神社仏閣の調査を行った。浸水線ギリギリのところでは津波被害の難を逃れ、震災後の人々の救済の場として役割を果たす神社や寺を訪問調査したことで、聖地が人々の安全を守り救う役割を果たしたことが分った。間もなく五度目の調査に行き、震災があった三・一には被災地の海でみそぎを行い、この時季の冷たい水に自ら浸かることで被災地の問題を実感的に捉えたい。今回のプロジェクトは、災害を含めた自然との関係性も対象としながら自然科学の方法を駆使し、神社の持つ機能を追究してきた」と語りました。

二、プロジェクト研究発表

「相模の国の地質と古代」

原田憲一 先生

(前京都造形芸術大学教授・現NPOシタタケ京都自然史特別研究員・地球科学)

日本列島は四万年前から人が住んでいる。千年に一回の巨大津波も四十回は来ている。

大きな地殻変動、地震、津波、火山活動によって日本列島は大きな変化が今も起きている。

古代人の知恵として、神社は安全な聖地につくられており、祭りによりいざという時に一緒に助け合ううまい社会的な機能がある。相模国に蓄積された先人の知恵ということで、市内社は安全な聖地につくられてはいる。危険地名、これは立ち入りを禁止するような、小字地名伝承年寄りの言い伝えが各地に残っている。三・一一の悲劇を繰り返さないためにも、安全な聖地と危険な聖地を、災害文化の観点からも、今回の研究会でやったような分離統合的な検証によって、防災と減災に結び付ける努力が重要ではないかと考えている。



「相模の国の花粉分析」

五反田克也 先生

(千葉商科大学准教授・花粉分析)

花粉分析によって古代からの植生の変遷を知ることができ、花粉は生産量が非常に多く、また科学的にも非常に強く、一万年、二万年と長期間残るのが特徴である。地面のボーリング調査により、植物の分布、気温変化、環境の変化を捉えることができる。今まで神奈川県で行われた花粉分析の研究は伊勢原、横浜、大磯の三例がある。寒川神社周辺の植生は、人の影響前、四千年前から二千年前ころはスギ、アカカシ属とかの森林が多く、人が入って後は、マツが入ってくる。今は堆積物の調査が行われ、一年ごとの編模様の分析で、地震の痕跡を探っていくことが出来る研究も進められており、今後の研究の進歩により、過去の地震の周期、津波の周期がわかるのではないかと期待している。



「相模湾の海水準と宇宙人文学」

中野不二男 先生

(JAXA主幹研究員・京都大学宇宙総合ユニット特任教授・宇宙人文学)

衛生データを駆使して、宇宙人文学と名付け、人文科学系の分野に積極的に生かしていこうと考え研究を進めている。寒川神社の研究は、縄文時代中期の相模湾を、衛生データを三次元で見ようと、表面データ、標高データを使い、海水準を設定し、少しずつ上昇させて再現した。時代を設定、海水準を推測し、単純に平面の海水準を上げていたのではなく海水準を上げながら地殻の変動を加味した。古代相模湾はほぼ正三角形になっており、その一番とがったところの陸地が寒川神社であったということは、非常に象徴的である。寒川神社の湧水・難波の小池は、丹沢山系、富士五湖から来る相模川の伏流水だと思われるので、衛星データの熱赤外データを使い、今後科学的に検証できると考えている。



「相模の国の生態系と古代遺跡」

湯本貴和 先生

(前総合地球環境学研究所教授・現在・京都大学霊長類研究所教授・生態学)

日本の神様には姿がない。名だたる山だとか、あるいは竹だとか、これらが神様というか、信仰の対象になっている。森はよりしろ、聖を守るものを森といっている。森と林、森は触っていけないところ林は経済的に使っていくところ。森をどんだん林に替えていくが行われたが、その中でも、聖地的あるいは宗教的に人が安易に手足を出せないところがある。人にとって生き物にとっても、逃げ場所とというのが鎮守の森にあったと考えられるが、明治三十九年からの神社社祀令により、七万ヶ所の神社が取り壊されてしまった心よりどころ、癒し空間、パワースポットあるいは環境教育みたいな、一番身近な自然として、鎮守の森はいまでも意味があるし、その意味でもっと発展させることが出来ると思う。



「相模の国と寒川神社周辺の地理学的考察」

河角龍典 先生 (立命館大学文学部准教授)



GIS (地理情報システム) を使った遺跡の景観のビジュアルライゼーション、景観シミュレーションの手法を使って、寒川神社を中心とした、相模国の神社の立地環境や景観について分析、比較検討しました。寒川神社の景観は西に大山が見え、箱根、富士山、南は伊豆大島、三宅島、御蔵島が見えます。北の方には筑波山、赤城山、日光の男体山、茶臼岳が見えるすくく眺望の開けた場所といえます。

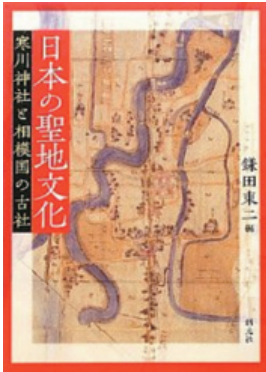
相模国の六所神社、寒川神社、川勾神社、比々多神社、前鳥神社、平塚八幡宮は、水辺に近いのですが比較的全て安定した地形に立地している、古い地形に立地していると言えます。この分析により、相模国の式内社からは大山はだいたい見え、また伊豆大島も式内社から見ることがわかりました。今回の研究で、古社の立地を見ていく過程で、神社というのは災害リスクの少ない土地に立地しているということが言え、また水と関わる土地でもある、河川も近い、あるいは地下水が豊富であるということも確認できたと思います。

●書籍 『寒川神社と相模国の古社』日本の聖地文化』 鎌田東二編著

平安京生態智 寒川神社研究会の研究成果を、代表研究者である鎌田東二教授の編著により刊行された。

「多様な方法論を駆使した聖地論」「類書とは趣を異にする異色の研究書」との評価があり、また神社を新しい視点から見直してみることができると好評と評されている。

また、「宇宙という広大な時空のある一点に、多角的な分析が収束していく刺激にあふれた聖地論」と評されている



◎実地調査研究

寒川神社周辺一体調査フィールドワーク
課題「寒川神社と相模国延喜式内社」
平成二十一年十二月二十六日～二十九日
平成二十二年八月五日～七日

(参加者)

- 鎌田東二教授
- 原田憲一 (京都造形大学教授)
- 湯本貴和 (総合地球環境学研究所教授)
- 五反田克也 (千葉商科大学准教授)
- 奥井遼 (京都大学大学院)

(調査地)

- 1、寒川神社・難波の小池
- 2、海老名国分寺跡
- 3、有鹿神社
- 4、有鹿神社湧水・勝坂遺跡
- 5、二之宮川勾神社
- 6、三之宮比々多神社
- 7、四之宮前鳥神社
- 8、その他延喜式内社
- 9、大庭神社・宇都母知神社・寒田神社
- 9、寒川大藏畑地ボーリング花粉分析調査
- 10、寒川町文書館

その他

JAXA調布航空宇宙センター打合せ

京都大学稲盛財団記念会館・こころの未来研究センターにおいて、担当先生による研究発表が行われ、今回のシンポジウムに出席できませんでしたが國學院大學名誉教授小林達雄先生の発表等も行われました。このシンポジウムによって、この研究プロジェクトは終了いたしました。



寒川神社方徳資料館



遺跡調査



現地調査



寒川神社少年館

◆青少年活動だより

第三十六回 卒館式挙行

本年五名の卒館生を送る第三十六回卒館式が、三月十六日(土)穏やかな春の陽の下、執り行われました。式に先立ち神社本殿において卒館奉告祭を行い、六年間無事過ごせたことの御礼と中学校生活が元気に送れることを祈り、玉串を捧げお参りしました。

続いて少年館ホールにて式典を行い、利根館長先生や講師の先生より、少年館で培った自信を糧に豊かな心を持って歩むようお願いの言葉を頂きました。



春の社会見学実施



今回、私達が生活する上で最も身近にあり最も大切な「火」と「水」について学習を深めようと、東京ガスの「がすてな」に、「東京都水の科学館」に、去る三月九日、五十八名がバス二台に便乗して行ってきた。「がすてな」ではガスの正しい使い方やエネルギーとしてのガスの役割どのようにして私たちの元に届くのかなど、見て聴いて体験して楽しく学んだ



「水の科学館」でも「水」がどこで生まれてどこを流れ、いろいろな人の手によって安全でおいしい水が飲めることを学び、「火」と「水」の大切さを実感し帰館した



GS 神奈川県第四十五回 おひな祭り会

本年の「おひな祭り会」はポーンスカウトをご招待し、盛大なお祝いとなりました。

スカウト達はご父兄とリーダーの作った五目寿司やかき玉汁を何度もおかわりをしてくれました。佐藤運営委員お手製の桜餅も食事に華を添えました。ポーン食後のお楽しみは、ポーン



BS 寒川第二団 オーバーナイトハイイク東海道三十キロ

ベンチャー隊では、オーバーナイトハイイクを挙行した。ポーンスカウト伝統の行事で、夜を通して歩き目的を達成させる訓練である

三月九日午後七時小田原駅を出発。三十キロの道のりを五キロ毎に休憩を入れながら歩き続けた。中間地点の大磯馬場公園では夜食をとって精気を養ったが残りの距離は長く、眠気と足の痛みにも耐えながら無事東海道の夜を踏破。十日午前七時寒川神社に到着した



発団四十周年に向け大きな目標を一つ達成させた。



いの言葉を頂き、スカウトには本当に「うれしいひな祭り」となりました。

神嶽山神苑 御案内

茶室 直心庵

お茶席

毎月一日に限り

特別にご利用いただけます



- ◆ 午前十時三十分一席
- ◆ 午後一時三十分一席
- 一席八名まで先着順
- (約三十分間)

初めての方もお気軽に
茶の湯に親しんで下さい

神楽舞と雅楽

石舞台行事



- ◆ 四月六日(土)・七日(日) 午後二時のみ
- ◆ 四月十四日(日) 午前十一時と午後二時
- (雨天は中止)

◎ 入苑券を持参の上ご来苑下さい

中島啓介氏責任役員代務者に就任

関根晃責任役員退任に伴ない、平成二十四年度宮山総代長中島啓介氏が、四月一日付をもって責任役員代務者に就任されましたのでご報告申し上げます

人事

◆昇進

- △神 社▽
主 典 小澤 佳次
- 〃 田村 拓之
- 寒川神社権禰宜に任ずる
- 平成二十五年四月一日

- 出 仕 神 社 本 庁
- 松橋 嶺行
- 〃 香田 俊介
- 主典を命ずる
- 平成二十五年四月一日

◆転出

- △神 社▽
- 権禰宜 櫻井 紀彦
- 静岡県へ転出を命ずる
- 平成二十五年三月三十一日

- 神 社 本 庁
- この度、静岡県富士市鎮座の富知六所浅間神社に奉職致しました。

- 権禰宜 加藤 迪夫
- 京都府へ転出を命ずる
- 平成二十五年三月三十一日
- 神 社 本 庁
- この度、京都府京都市鎮座の北野天満宮に奉職致しました。

- △神 社▽
- ◆新採用
- 鈴木しづか
- 久志 瑞季
- 中村 佳代
- 巫女を命ずる
- 平成二十五年四月一日

- △参集殿▽
- 木村 禎成
- 平成二十五年四月一日
- 寒川病院▽
- 医師 石田 正之
- 寒川病院勤務を命ずる
- 平成二十五年四月一日

◆異動

- △寒川病院▽
- 看護師 松本 由美
- さむかわ訪問看護ステーション管理者を命ずる
- 平成二十五年四月一日
- 看護師 池田志美子
- さむかわ訪問看護ステーション管理者を解く
- 平成二十五年三月三十一日

- ◆転籍
- 看護師 若松真奈美
- 寒川病院へ転籍を命ずる
- 平成二十五年四月一日

- △神 社▽
- ◆退職
- 権禰宜 遠藤 雅人
- 願いに依り職を免ずる
- 平成二十五年三月三十一日
- △参集殿▽
- 御厨 浩和
- 願いに依り職を免ずる
- 平成二十五年三月三十一日

- △寒川病院▽
- 医師 渡辺 卓
- 看護師 大森智佳子
- 〃 山崎 里織
- 理学療法士 加藤 幸弘
- 願いに依り職を免ずる
- 平成二十五年三月三十一日

439

健康手帳

特定健診・特定保健指導について

宗教法人 寒川神社 寒川病院
健康管理科医長 車田 知之



高血圧、脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病は個々の原因で発症するというよりも、肥満、特に内臓に脂肪が蓄積した肥満が原因であると考えられています（内臓脂肪蓄積により様々な病気が引き起こされた状態をメタボリックシンドロームと呼びます。）

腹囲が85cm（女性は90cm）を超えた瞬間に、健康体が一転して病気を発症することはありませんが、太り始めた時からメタボの歯車は確実に回り始め、肥満から高血圧・脂質異常症・糖尿病・動脈硬化が連鎖的に起こり、最終的には心筋梗塞や脳梗塞などの致死的な病気に陥る可能性が高くなっていきます。

国は生活習慣病の予防・医療費の削減を目的とし

平成20年4月から40～74歳の保険加入者を対象としてメタボリックシンドロームに着目した特定健診・特定保健指導を導入し、企業の健康保険組合や市町村など保険者に、その実施を義務付けました。この仕組みは40～74歳の方全員を対象として大規模な一次予防を行うという世界に例を見ない先駆的な取り組みとして各国、特に欧米先進国から注目されています。この特定健診・特定保健指導が導入されてから5年が経ち、平成25年からは第2期が始まるうとしています。国では現在、5年間のデータを分析し、その成果および今後の課題を検討していますので、近々報告があるものと思われる。

特定健診は「腹囲の基準

に科学的根拠がない」「糖尿病はやせ型にも多い」「検査項目がメタボリックシンドローム対策に偏りすぎて」「各検査項目の基準値が非常に低く設定されているため健康な人でもメタボ予備軍と診断されかねない」「女性ややせている人については生活習慣病の兆候が見逃される可能性が高い」など、専門家からも問題点が指摘されているもの、その効果が少しずつ認められるようになったことから、平成25年度からの第2期も基本的には現行の枠組みを維持するようです。現行の特定健診・特定保健指導のシステムが我々国民にとってベストなのかどうかはまだ分かりませんが、肥満から高血圧・脂質異常症・糖尿病・動脈硬化が連鎖的に起こりといった考え方は間違っていないと思います。機会がありましたら病気を未然に防ぐ目的のこの特定健診・特定保健指導を是非お受け下さい。



医療講演会のご案内

とき 4月26日(金)
午後2時～3時

ところ 寒川神社 参集殿

内容 「レストレスレッグズ症候群（いわゆる“むずむず脚症候群”）について」

講師 副病院長
栗田 啓司

入場無料 申込不要
ご来場をお待ちしております。

0467-75-6680
寒川病院

ポースカウト 寒川第2回

もちつき・バザー大会開催

<とき> 5月3日(金) 9時～14時 雨天順延
<ところ> 寒川神社 馬場



あったか！ つきたて！
あんこ・きなこ・からみ・大福・よもぎ餅
販売致します。
～つき手飛び入り大歓迎～

ポースカウト募集中

スカウト1日体験入隊コーナー開設

同日10時～12時

冬川俳壇

牛の仔の跳ねる仕草や水温む
 啓塾や野良着のゴムを入れ直す
 新若布乾きて三浦の砂零す
 春雷や木馬の蹄跳ぶかまえ
 芽柳の水面掃きをり春北風
 受験生十秒前の深呼吸
 みちのくの海に三度の彼岸来る
 靴音の戻りし路地の梅月夜
 さわやかな初音が届く震災日
 てのひらに豆腐賣の日暖かし
 梅月夜五右衛門風呂の日の遠き
 軒下に腹をあづけて孕猫
 実朝忌驚ひくく舞ふ由比ヶ浜
 川底の石のうごきぬ水温む
 春セーター健康そうな乙女かな
 薄紙を剥げば雛の目覚めけり
 薄氷を突きて用事を忘れをり
 ドーナツの穴から覗く街は春
 蒲公英や絮は煙りとなり消える
 芹摘みの母子だんだん遠くなる
 海こえて黄砂運ぶや春一番
 春泥の靴ぶつぶつと洗ひたり
 夕日さす畦に蒲公英咲き残り
 「あれ」「それ」と言ふこと多く春炬燵
 小会社の周りに咲く犬ぶぐり



- 金指 月光
 根岸 君子
 岡田風呂釜
 今関 幸代
 相原 白路
 菅沼 保幸
 飛石 槿花
 千葉 静香
 原野 楽天
 金子 つち
 倉谷 節子
 宮入 つる
 伊藤 公一
 露木てる子
 皆川志んこ
 菅沼うめの
 山本 朝子
 竹村真砂美
 四ツ車梢月
 芹沢 徳光
 並木みちよ
 岩田美代子
 浦野 房子
 松本美智子
 松村 信篤

四月 手水舎奉掲

明治天皇御製

きくたびに ゆかしきものはまつりごと
 ただしき國のすがたなりけり

桐栞詠草

「カプチーノ」二杯飲みしが過ぎたるか眠り遠のき頭のみ冴えたり
 みだれ萩秋を楽しむ人波に踏まるるも耐え実を守りおり
 燃えるよなもみじ梢にないけれど行くあぜ道は草紅葉する
 農一筋に励みて来たりこの手の皸よ卒寿を迎え感謝する日々
 懐かしい味思ひつつ拾ひたり山栗八つ安曇野の野に
 耳癢の白寿の夫の意のままに音声高きテレビに耐ゆる
 寒き日に猫の九ちゃんまると毛をふくらませひなたぼこする
 舟遊び川面ゆつくり漕ぎゆけり傘なすもみじ枝美しきを見上ぐ
 障害を乗り越え走るロンドンに闘病中の吾に元氣くるる
 沈みゆく夕日は片瀬の海原を茜に染めて潮の香充つる
 明けやらぬ路地にただようみそ汁のにおい今日の無事を祈れる
 素枯れ行く庭の片隅石路の一群咲きてにぎわう黄色
 大寒の朝の空のカンカンと音するほどに澄みて徹れる
 今は亡き夫の手折し梅の花はがき絵となり吾を慰む



- 安藤 慧
 川島恵美子
 天利 春枝
 三留とく子
 堀江 照子
 宇田川時子
 土屋トミ子
 浜田 寿子
 山口 幸子
 山根喜美代
 亀山 文子
 岡元 芳子
 杉本 照世
 瀧本三重子

表紙写真説明

百年ぶりに発刊された
 『寒川神社誌』

編集後記

桜にまつわる伝説には身代わ
 りとなる悲話が多くある

自己を捨て他人を守った人物
 を慰霊し、讃える花も、あの
 綺麗な桜と思うと、花見に出
 掛ける姿や心も変わってくる